

◆ 介護情報基盤ポータルのご紹介 ◆

介護情報基盤の活用をサポートする公式サイトをご用意しています。オンラインで、素早く、助成金をはじめとした各種申請や関連情報の確認、問い合わせができます。



介護情報基盤ポータル

検索



詳しい情報は
こちらから

◆ ご負担少なく、サポートとともに始められます。

- ご利用にあたって、**利用料はかかりません。**
- **介護情報基盤の導入に関する助成金をご用意しております。**
申請は「介護情報基盤ポータル」の「各種申請」から行うことができます。
- 介護WEBサービスを利用する医療機関は、**導入支援事業者のサポートを受けられます。**



ご相談があれば、気軽にお問い合わせください！

◆ お問い合わせ ◆

「介護情報基盤ポータル」の「お問い合わせ」よりご連絡ください。
チャット・お問い合わせフォーム・電話でのご案内を用意しております。



医療機関専用
0120-697-313

受付時間 平日 8:00～18:00 / 土曜 8:00～16:00
日曜、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は、
お休みさせていただきます。



やさしいデジタル、
介護を支える、
ひとつにつながる。



医療機関のみなさまへのご案内

介護情報基盤とは

介護に関する情報を電子化し関係者間で共有できる仕組みです。

介護を取り巻く現場には、人材不足や複雑化する業務といった課題があります。その課題をデジタルの力で解決し、働きやすい環境をつくることを目指すのが、この「介護情報基盤」です。

事業所・市町村(保険者)・医療機関・利用者といった、

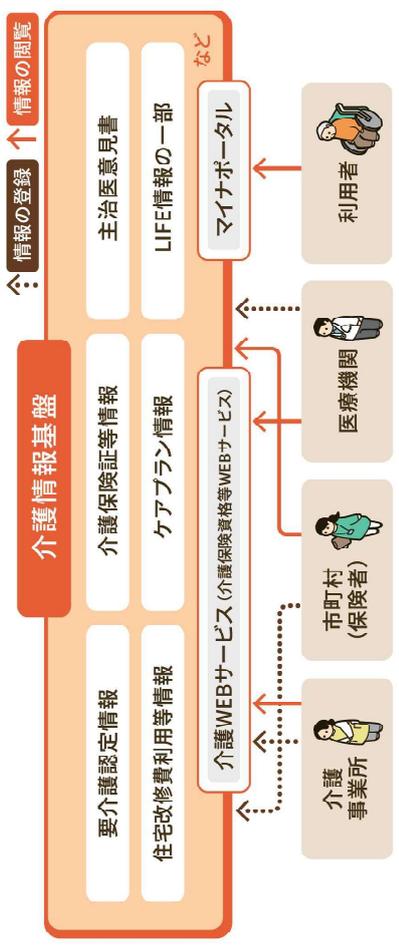
介護に関わる方々の連携を強めます。

複数のガイドラインに従って構築されているシステムとなるため、情報セキュリティが担保されています。

この仕組みから生まれるのは、人と向き合う時間。

ケアの質が高まり、利用者のご家族の安心や幸せにつながります。

ひとつの「基盤」の上で、介護に関わるすべての人が支え合うチームとなっていきます。



3つのメリット

事務作業の効率化

紙での手間や負担がかかると作業が減り、より業早く、容易に仕事をこなせます。

情報をひとつに集約

介護保険資格・認定情報、主治医意見書、ケアプランなどの情報をサービス間で共有できます。

手続きをリアルタイムで

介護に関する申請・提出・受信・確認などの作業を、郵送や電話を介さずオンラインで完了できます。

実現できること

作業を削減し即座に対応

主治医意見書や請求書類などをオンラインで扱えるようになり、印刷・郵送の手間やコストが削減されます。さらに、**居宅療養管理指導などに必要な情報が連携**され、スピーディな現場対応が可能に。

サービスの質向上

ケアプランやLIFEなどを通じて、**利用者の状態をより細やかに把握**できるため、気づきにつながります。長い目で**寄り添ったサービス**の提供が可能に。

利用開始までのステップ

文書作成ソフトや電子カルテとの連携

文書作成ソフトや電子カルテが対応している場合*、主治医意見書の電送ができます。

1. システム事業者と相談・依頼
介護情報基盤への適用について、システム事業者にご相談・ご依頼。

2. システム改修
文書作成ソフトや電子カルテのシステム運用に向けての準備。

介護WEBサービスとの連携

みなし介護事業所である医療機関の場合、介護情報の閲覧ができます。

1. 利用する端末の準備
インターネット接続可能な端末を用意し、電子証明書をインストール。

2. 各種設定
マイナンバーカードの読み取り機器や介護WEBサービスの設定などを行い、市町村の対応状況を確認。

3. 活用開始
マイナンバーカードで、利用者の介護情報が閲覧可能に、紙の介護保険証等の情報を用いた手入力でも閲覧可能。

※文書作成ソフトや電子カルテが対応していない場合、介護WEBサービスから主治医意見書を電送することも可能です。詳しくは、介護情報基盤ポータルを参照ください。